

Vineland-IIって何？

Vineland-IIは、0歳0カ月～92歳11カ月の適応行動（個人的、または社会的充足に必要な日常活動の能力）を評価する検査です。お子さんのの様子をよく知っている回答者（保護者や介護者など）に聞き取りをしながら行う検査です。



画像引用：日本文化科学社

Vineland-IIでわかることは？

コミュニケーション領域

言葉を理解できる力（受容言語）や言葉を使って表現する力（表出言語）、文字や数字を読んだり書いたりできる力（読み書き）などコミュニケーション全般に関わる領域

日常スキル領域

支度やトイレなどの身辺自立の力や料理や片付けなどの家事の力、時計の機能を理解することやお買い物ができること、交通ルールを理解し守ることなどの地域生活の力など日常的なスキルに関わる領域

社会性領域

親や周りの大人、お友達に興味を示し関わりを持つ力（対人関係）や一緒に遊んだり順番交代などお友達と関わりながら遊ぶ力（遊びと余暇）、「ありがとう」を言ったり「～してください」などお願いをしたりするなどうまく対処する力（コーピングスキル）など社会性に関わる領域

運動スキル領域

ジャンプやスキップ、片足ケンケンなど体全体を使った運動の力（粗大運動）やハサミで切ったりのりで貼ったりするなど手先を使った細かな運動の力（微細運動）など運動スキルに関わる領域

Vineland-IIフィードバック例



ミナシアFriendsをご利用いただき、ありがとうございます。今後の支援計画等に生かしていくため実施させていただきました心理検査の結果及び、それを踏まえて立案をした支援目標について、簡単にではありますが、ご報告をさせていただきます。

〇〇〇〇さん 20〇〇年〇月〇日生まれ 〇歳〇〇ヵ月

■ 検査結果の報告 Vineland-II (20〇〇/〇/〇)

この検査では、お子さまがお友達と仲良くするためのスキルや、自分自身の体を大切にしながら過ごしていくためのスキルなどについてみています。

●コミュニケーションの力はどうか？

この検査では①言葉を理解する力(受容言語)②言葉を使って伝える力(表出言語)③読み書きといった側面をはかっています。尋ねられるといくつかの体の部位を指差すことができたり、ほしいものを指差して伝えることができたりしています。一方、簡単な指示を聞いて実行したり、しばらくお話を聞いたりすることや言葉を使って自分の思いを相手に伝える力はまだまだ伸び代があるかな、という結果でした。

●日常生活の力はどうか？

拭き掃除や食器を運ぶお手伝いをしてくれたりするなど日常生活のスキルが整ってきています。特に家事のスキルはお子様にとって強みであると言えます。一方、切り替えが難しい場面があったり、遊んだ後の片付けに苦手さがあることがわかりました。今後、日常生活の中で興味を持っている家事にはどんどん取り組んでもらうなど、できることの範囲を広げることはお子様の自信に繋がります。ミナシアフレンズでも活動間の切り替えやサーキットの片付けなど、楽しみながら取り組めるように工夫していければと思います。

●社会性の力はどうか？

相手によって親しみの度合いを変えるなど社会性の基礎となるような行動が形成されつつあるかと思えます。一方、社会性の力ややり取りのスキルを用いてお友達と遊ぶことが苦手かな、という結果でした。まずは、少人数活動の中で、大人や周りのお友達がしている遊びの流れに乗りながら真似っこしたり、ルールに従って遊んだりすることを通して社会性の力を伸ばしていければと思います。

●運動の力はどうか？

この検査での運動の力は①体全体を使った運動の力(粗大運動)②手先を使った細かな運動の力(微細運動)といった側面から見えています。転ぶことなく走ったり、階段を上手に登ったりするなど年齢相応の力が備わっている、という結果でした。お子様にとって、大きく体を使った運動や活動は大きな強みになると思われます。また、②の指先を使った細かな動きの領域も、いくつかのピースのパズルを完成させたり、ハサミを開いたり閉じたりできるなどお子様にとって得意な分野であるという結果でした。

■まとめ

今回の検査の結果では、お子様にとって日常生活(特に家事のスキル)や運動の力が強みであることがわかりました。よってまずは、お子様が得意とする運動のスキルや日常生活のスキルを生かしながら、言葉の力・社会性の力を引き出していくことが鍵になってくると考えられます。また、場面に応じて言葉を短く、わかりやすく言うなど、お子様が言葉を真似しやすいようにサポートしていく事も大切です。今後、フレンズでは体操や毎日変化するプログラムや、サーキットなどの体を使った遊びの中でルールを守って遊んだり、お友達と順番交代したりするなどに取り組んでいく予定です。楽しく通いながら少しずつできることの幅を広げていきましょう。

以上、ご質問などあれば、いつでもご相談ください。

Reporter: 岡山晃一郎